

冠島・オオミズナギドリ調査の動画作成

西舞鶴高校の生徒が冠島とオオミズナギドリ調査を通じ、地域の自然を学んでいます。



毎年行われる舞鶴市主催の冠島でのオオミズナギドリ調査において、本校生徒数名と教員は冠島調査委員会（会長：須川恒氏）に同行して調査補助などを行っております。今年はその調査がコロナ禍により第1次（春）第2次（夏）とも中止になりました。

本校冠島調査グループの生徒たちは、この状況の中でも「冠島とオオミズナギドリについて学び、世界に伝えられることをしよう」という思いのもと活動を行っています。

今年度に入り、冠島調査研究会の須川会長からのオンライン講義などにより冠島とオオミズナギドリについて学び、教員指導のもと、本校生徒が調査に関わる動画（日本語版、英語版）を作成しました。協力いただいている環境省からの公開許可もいただきました。以下活動概要です。

- 1 活動日程 令和3年5月～
- 2 目的 オオミズナギドリの集団営巣地として天然記念物に地域指定されている冠島について学び、地域の豊かな自然環境や海鳥の生態についての理解を深め、地球環境の持続可能性について考える。
舞鶴の高校に通う次世代の担い手として、冠島とオオミズナギドリについて発信し、多くの人に冠島やオオミズナギドリ調査について知ってもらう活動を行う。
- 3 作成動画

日本語版

<https://youtu.be/q48MY2W8yX0>



英語版

<https://youtu.be/LImch0uEoDs>



- 4 その他 報道からの問い合わせが複数あれば冠島調査研究会（会長：須川恒氏）にもオンラインで同席いただき、活動報告を行うことなども可能とのことです。
本活動はサントリー世界愛鳥基金による助成を受けて活動しています。